

## 兵庫県神戸市で採集されたマツヘリカメムシ

伊藤誠人

マツヘリカメムシ *Leptoglossus occidentalis* Heidemann は、北米大陸に広く分布し、多様なマツ科植物を寄主とするやや大型のヘリカメムシである。日本では2008年に東京都で初めて記録され(石川・菊原, 2009), それ以降、埼玉県・千葉県・群馬県・栃木県・茨城県・大阪府・福岡県で記録されている(伴ら, 2011; 紙谷・三田井, 2011; 宮本ら, 2012; 金杉ら, 2011; 宮ノ下・曲山, 2014; 根来・植田, 2014)。また、インターネット上では新潟県・福島県・長野県・愛知県で撮影された画像が確認されている(根来・植田, 2014)。筆者はこれまで記録の無かった兵庫県において本種を撮影・採集したので報告する。

撮影・採集データは以下の通りである。なお、今回得られた標本の一部は公的な収蔵機関に収蔵する予定である。

14exs., 26. X. 2015, 神戸大学構内, 伊藤・大塩採集



写真 2015年10月26日, 兵庫県神戸市神戸大学構内, 伊藤撮影。

筆者は神戸大学のコピー室での作業中、窓に止まっている本種を1個体採集した。その後、大学構内に植栽されているクロマツの若果をスケーピングしたところ、2個体の幼虫を含め13個体の本種を得ることが出来た。

これまで兵庫県から記録のなかった本種であるが、今回採集された個体数や幼虫が採集されていることを考えると既に定着している可能性が高いと考えられる。

### ○参考文献

- 石川忠・菊原勇作, 2009. 北米産ヘリカメムシ *Leptoglossus occidentalis* Heidemann の日本からの初記録. 昆虫(ニューシリーズ), 12(3): pp. 115-116.
- 金杉隆雄・清水聡司・神保智子, 2011. 桐生市における外来昆虫マツヘリカメムシの記録. 乱舞, 20: pp. 11.

紙谷聡志・三田井克志, 2011. 394 (Hem.: Coreidae) 福岡市で発見された九州初記録のマツヘリカメムシ. PULEX, 90: pp. 574-575.

伴光哲・槐真史・藤田裕・大山光信・佐藤貴則・氏原巨雄, 2011. 神奈川県から発見された外来種マツヘリカメムシ. 神奈川虫報, 174: pp. 112.

宮本雄介・伴光哲・高野健太郎, 2012. 山梨県から発見された外来種マツヘリカメムシ. Rostris, 54: pp. 54-56.

宮ノ下明大・曲山幸生, 2014. 茨城県つくば市において冬季に建物で発見されたマツヘリカメムシ *Leptoglossus occidentalis*. ペストロジー, 29: pp. 23-24.

根来淳代・植田 義輔, マツヘリカメムシの大阪府枚方市からの記録. きべりはむし, 37: 41.

(Masato ITO 神戸大学大学院 昆虫多様性生態学研究室)